

学 校 運 営

【教育目標】「ひとりだちのできる子」の育成(自立と社会参加の力を育てる)

【教育方針】 児童生徒一人一人の障がいの特性に応じた、きめ細やかな支援や指導を通して、
個々の可能性を最大限に引き出すことを目指し、自立と社会参加の力を育てる。

社会参加の力



【教育の重点】

	小学部	中学部	高等部
生活自立	・日常の基本的な生活習慣を知り、自分から身の回りのことを行おうとする意欲や態度を育てる。 ・好きなことや楽しいことを見つけ、自ら活動することで経験の広がりを図る。	・日常生活に必要な基本的な力を身に付け、生活の場に活かす意欲や態度を育てる。 ・個々の生徒の状態に合わせて読み、書き、計算などの基礎学力を高め、生活力の向上を図る。	・卒業後の社会生活や家庭生活等に必要なる力を身に付け、将来の生活に活かす意欲や態度を育てる。 ・基礎的・基本的な知識や技能を習得するとともに、自ら学ぼうとする姿勢を育てる。
社会自立	・約束を守って、友達や先生と関わりながら、活動する力を育てる。 ・自分の気持ちを表したり、思いを伝えたりする力を育てる。	・生活経験を広げ、集団の中でルールを守りながら活動できる力を育てる。 ・自分の考えや意見を伝える力を育てる。	・集団の中でのルールやマナーを理解し、周りの人の気持ちを尊重しながら活動しようとする態度を養う。 ・自己理解を深めることにより、好ましい人間関係が構築できるよう、場や状況に応じたコミュニケーション能力を育てる。
職業自立	・自分の得意なことや苦手なことを知り、苦手なことにも継続して取り組もうとする態度を養う。 ・役に立っていることに気付いたり、喜びを感じたりして、役割を果たそうとする力を育てる。	・他者との関わりの中で自分のよさに気付き、自分の将来について主体的に考える力を育てる。 ・働く喜びを味わったり、働くことに関心をもったりし、働くための基礎的な力を育てる。	・実践的な学習を通して自己のもつ職業スキルや適性をふまえた進路選択ができる力を育てる。 ・働くことの意義を理解し、働くために必要な知識・技能・態度を育てる。
訪問教育 ・周りの状況を受け入れ、自分の思いを表出しようとする力を育てる。			